

2014年10月14日
野村不動産株式会社

報道関係者各位

野村不動産が開発する高機能型物流施設『Landport』 「(仮称)Landport 岩槻」 開発用地を取得

野村不動産株式会社(本社:東京都新宿区/取締役社長:中井 加明三)は物流施設事業『Landport』シリーズにおいて、埼玉エリア3物件目となる「(仮称)Landport 岩槻」の開発用地をさいたま市岩槻区で取得いたしましたので、お知らせします。

さいたま市岩槻区は、都心から約30km圏内に位置しており、東北自動車道や国道16号線等の幹線道路を利用することで、埼玉県内だけでなく首都圏および東日本全域への広域配送が可能なエリアです。本物件は東北自動車道「岩槻」ICから約6kmの距離にあり、高速道路へのスムーズなアクセスが可能であることに加え、岩槻IC周辺では希少な「北部工業団地」内に立地しており、24時間の物流業務が可能な環境となっております。

計画建物は3階建・延床面積約7,300坪を想定しており、温度帯対応や床荷重の変更など、荷主様・テナント様の要望を反映可能な施設計画としております。また、施設内ワーカーへ配慮したアメニティスペースや、環境への配慮とテナント様のランニングコスト削減のため倉庫内を含めた全館LED照明の採用などを計画しております。着工は2015年秋、竣工は2016年夏を予定しております。

【(仮称)Landport 岩槻】



【外観イメージパース】



野村不動産の開発する『Landport』シリーズは、物流の最適化・効率化を追求した各種仕様・設備を備え、全館 LED 照明の採用等の環境対応及び BCP 対応に配慮した大規模高機能型物流施設です。

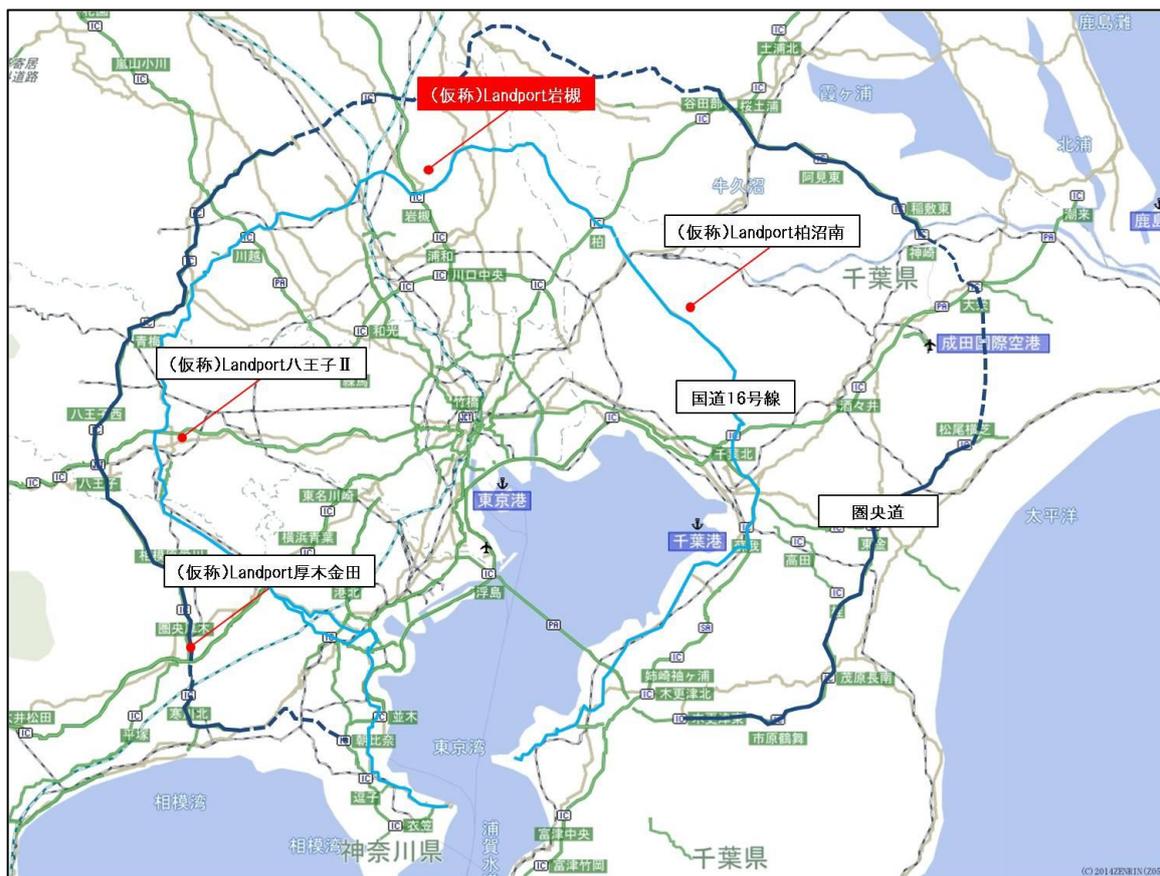


〈『Landport』ロゴ〉

野村不動産グループでは、首都圏で6物件約10万坪の『Landport』シリーズの開発・運営を行ってまいりました。開発・運営によって培った経験を生かし、エリア特性や物件規模に応じて、大規模マルチテナント型施設から、テナントのニーズを基本設計に盛り込んだシングルテナント型施設まで多様なメニューの開発を行ってまいります。

現状、2015年1月竣工予定の「(仮称)Landport 厚木金田(延床面積約11,700坪)」及び、2015年4月着工予定の「(仮称)Landport 柏沼南」、2015年7月着工予定の「(仮称)Landport 八王子Ⅱ」の開発計画を進めております。引き続き当社を含めた野村不動産グループ全体で多様な事業スキームを用い、首都圏・関西圏・中部圏・九州圏において物流施設『Landport』の開発を積極的に行ってまいります。

【地図】



【本件に関するお問い合わせ窓口】

野村不動産株式会社 広報部(大西・阿部)
TEL03-3348-7805・FAX03-3343-0445